

ICANNブリュッセル会合 政府諮問委員会(GAC)報告 (平成22年6月19日～23日)

平成22年8月5日

総務省

データ通信課 企画官

中沢 淳一



政府諮問委員会(GAC)の概要(1)

● GACの活動

- ICANNの活動に関し、次の事項について政府の立場から検討、ICANN理事会に対して助言
 - － 公共政策課題に関する事項
 - － ICANNポリシーと各国国内法、国際協定との間で相互に関係がある事項
- ICANNの理事会はポリシーの制定、採択においてGACの助言をしかるべく考慮しなければならない

● GACメンバー構成と参加状況

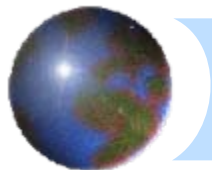
- 現在、109の国・地域の政府及び14国際機関(オブザーバ)で構成
- 今会合には60の国・地域の政府、4国際機関が参加
- 日本からは総務省が代表として参加



政府諮問委員会(GAC)の概要(2)

● 今会合での主要議題

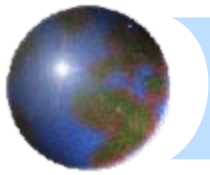
- (1) 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)の導入について
- (2) GACの役割とAoCレビューについて
- (3) GAC事務局の次期体制について
- (4) その他



GAC会合の結果概要(1)

(1) 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)の導入について

- ICANNでは、現在21ある「.com」等分野別トップレベルドメイン(gTLD)の拡充を図ることとしており、そのための申請ガイドブック案を策定中。本年5月31日に申請ガイドブック案第四版(DAGv4)が公表されたところ。
- 今回のGAC会合では、DAGv4について
 - 地理的名称として扱う文字列の定義が不十分である、
 - 文字列のカテゴリーによって異なる申請手続・処理を研究する必要性がある、
 - 国・文化・宗教・言語に関わる文字列の異議申立て手続が不十分である 等の意見が出された。GACとしてコメントを別途取りまとめ、理事会に送付することとした。
- また、新gTLDへの発展途上国の参加を排除しないような技術面・費用面の要件、情報提供活動の方針が早急に作成されるべき旨を理事会に助言した。



GAC会合の結果概要(2)

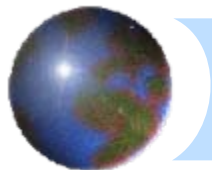
(1) 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)の導入について(続き)

新gTLD申請ガイドブック案第四版(DAGv4)に対するGAC会合での意見(例)

※GACとして最終的に合意されたものではない。

- 新gTLD導入の経済分析、悪意ある行為の軽減や商標権の保護のための方策の追加、政府の支持に関わるレジストリ契約条項の提案等について歓迎
- 国・領土名を表す文字列は、申請第1ラウンドだけでなくIDN ccPDPが完成するまで、申請の対象外とすべき
- 文字列のカテゴリーによって異なる申請手続・処理を研究することが必要
- 依然として、地理的名称の文字列の定義が不十分
- 地理的名称の文字列に対して政府が「支持」または「反対がないこと」を決定するには、特に複数の申請がある場合、時間が必要
- Morality and Public Order(MoPO)を根拠とする異議申立て(国・文化・宗教・言語に関わる文字列)の手続は、再検討が必要。ICANNはコミュニティ全体での議論を促進すべき
- 政府による異議申立ては費用がかからないようにすべき

等

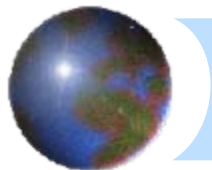


GAC会合の結果概要(3)

(2) GACの役割とAoCレビューについて

① GACと理事会の合同ワーキンググループ(JWG)

- 2009年6月のシドニー会合で設置が承認され開催されてきている「GACと理事会の合同ワーキンググループ(JWG)」会合が今会合でも開催され、GACの役割に関し、理事会へのGAC助言の在り方、理事会や支持組織・諮問委員会(SO/AC)等へのGACリエゾンの役割について議論された。
- GAC助言の在り方については、
 - いつ助言がなされ、理事会でいつどのように検討され、回答されたかを透明性のある方法で記録すべきこと、
 - GACは、ポリシーそのものへの助言だけでなく、ポリシー作成におけるICANN組織間の連携を促進する方法に対しても助言を行うこと 等
が確認された。
- なお、今会合で取りまとめを予定していた報告書については、次回会合(12月)で取りまとめることとされた。



GAC会合の結果概要(4)

(2) GACの役割とAoCレビューについて(続き)

② GACとAoCレビューチームとの合同会議

- 2009年9月に締結された米国商務省とICANNとの間の新たな合意(AoC※¹)に基づくレビューのうち「説明責任・透明性レビューチーム」(A&T RT※²)が本年4月から立ち上がり、議論が進められている。

※1 Affirmation of Commitments

※2 Accountability and Transparency Review Team

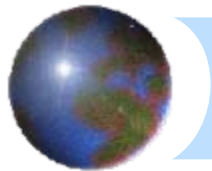
- 今回、GACとA&T RTとの合同会議が開催され、事前に送付された質問(GACの役割と機能を発展させるプロセス、理事会や他のステークホルダーとの連携等)に基づき議論された。その結果、JWGと同様、GAC助言の在り方、GACがポリシー作成プロセスに初期段階で関わることの重要性等が認識された。
- なお、A&T RTでは、今後パブコメ募集を経た上で、本年12月末までに勧告を取りまとめることとされている。



GAC会合の結果概要(5)

(3) GAC事務局の次期体制について

- GAC事務局については、現在、2006年から5年間の期限でインド政府により提供されているところ。
- GAC事務局の次期体制について、オランダ、ブラジル、ノルウェーが共同で資金を拠出し、ICANNのサポートを受けつつ、事務局を運営する提案が承認された。遅くとも2011年6月のICANN/GAC会合から事務局を移行させる。



GAC会合の結果概要(6)

(4) その他

- GAC議長(Janis Karklins氏:ラトビア)が7月1日付けでUNESCO事務局長補(情報通信部門担当)に就任し、ラトビア政府職員を辞職するため、今会合で暫定議長の選出が行われた。結果、GAC副議長であるHeather Dryden氏(カナダ)が暫定議長に選出された。

なお、次期GAC議長については次回会合(12月)において選出される。